

地球環境時代における教育小委員会 第3回議事録(案)

日時：平成17年 9月 16日(金) 17:00～19:00

5

場所：建築会館 303会議室+談話室

出席者：吉野博(東北大学)、三浦秀一(東北芸術工科大学)、菅原正則(宮城教育大学)、
小澤紀美子(東京学芸大学)、宿谷昌則(武蔵工業大学)、妹尾理子(住宅総合研究財団)、
10 高橋達(東海大学)、井元りえ(福岡工業大学)、石井洋平(技報堂出版)
：9名

資料：3-0 地球環境時代における教育小委員会(+刊行委員会) 第3回 議事次第

3-1 地球環境時代における教育小委員会 第2回 議事録(案)/菅原委員

15

3-2 地球環境時代における住環境教育の現状と今後の展開/吉野(博)主査、菅原委員

3-3 住環境教育教材 目次案/石井氏

3-4 持続可能な食生活を目指した食教育プログラムの開発(第1報)

献立におけるライフサイクルエネルギーの算出

(日本家政学会誌、Vol. 56、No. 8、pp. 541-551、2005)/井元氏

20

3-5 ライフスタイル変革のためのエネルギー概念と教育に関する一考察

英国と日本の教科書分析の試み

(学校教育学研究論集第2号、東京学芸大学大学院連合 学校教育学研究科、1999.3)

/井元氏

25

議事：

1. 議事録確認

前回議事録案(資料3-1)は承認された。

2. ライフサイクルエネルギーについて

30

井元氏から、標記(資料3-4、3-5)について説明された。これに関して、次のような意見交換があった。まず資料3-5については次の通り。

(吉野)省エネルギーと節約を分けているが、その分類は井元さんの判断か？

(井元)節約は無駄にしないということであるが、省エネルギーは技術的対応も含む。

35

(吉野)日本の教科書はそれを読めば理解できるように作られているが、イギリスのものは考えさせるようにできているということか？

(井元)イギリスの教科書にはたくさんの立場からの意見が示されている。どれが正しいかの判断は生徒に委ねている。

40

(三浦)太陽光発電について経済性の観点があるが、そうすると採算上は太陽光発電は不利であることが分かるようになっていたと思うが、それを踏まえてどうするかを考えさせるのが狙いか？

(井元)その通りである。

(高橋)太陽エネルギーの授業における生徒の思考過程が、<気づき・関心> <知識> <意欲> <意欲・思考力> <思考力> <判断力>となっているが、これはすべての単元でそうになっているのか？

(井元)必ずしもそうではない。

45

引き続いて資料3 - 4については、次の通り。

- 5 (宿谷)衣食住をエネルギーという観点で比べてみると何が大切か分かるようになる。
例えばサッシの単板と複層が、ごはんとハンバーグに相当するといったようなイメージができると、おもしろい。
- (小澤)家庭科は従来、料理や裁縫のイメージがあるが、「環境」の視点を持ち込むと男女共修の意義が見えてくる。
- (井元)ライフサイクルエネルギーが大きくなるからといって、輸入や外食がいけないということにはならない。
- 10 (吉野)住宅の年間消費エネルギーが10GJだから、この食事のライフサイクルエネルギーとほぼ等しいことが分かる。
- (宿谷)受験教育で学習することが、身の回りの現象と結びついていないことが多いが、例えばバターをフライパンで溶かす例で熱の話をするとう興味を持って聞いてくれる。これが学習意欲になる。
- (小澤)豆腐やプリンの例で、材料力学の話もできるのに、日本の学校教育は結びつけて考えられていない。
- 15 (妹尾)最近、他の教科を学習する動機付けを想定した、家庭科の授業作りが見られる。

3. 学校校舎エコ改修と環境教育事業の紹介

宿谷委員から、「平成16年度学校校舎エコ改修と環境教育事業における地域との連携に関するフィージビリティ調査報告書」を提示されながら標記について紹介された。

20

4. 刊行について

石井氏から、標記(資料3 - 3)について説明があった。これに関して、次のような意見交換があった。

- (吉野)想定している読者は?
- 25 (石井)小中高の学校の先生が授業(環境教育)などに活用することを想定している。
- (小澤)1章「地球環境全般の話」には、これ以外に「太陽」と「廃棄物」を取り上げるのが良い。
- (吉野)3章「体験してみよう」には、宿谷委員が紹介した報告書の内容を充ててはどうか?
- (宿谷)この報告書の内容を充実させて出版したいという希望が関係者の中にあつた。
技報堂で扱うつもりはないか?
- 30 (高橋)1章で専門家の取り組みを紹介するということであつたが、答えになることをあまり見せない方が
良い。
- (小澤)2章「わたしたちにできること・体験してみました」は、付録のような扱いとして最後に配置する
のが良い。
- (菅原)この委員会からの刊行物と宿谷委員紹介の報告書の出版との内容を住み分けて、タイアップするの
35 が良い。
- (吉野)趣旨としては、地球環境時代における住環境教育に関する報告書を刊行すること。

5. 今伝えたいトピックスについて

吉野主査から、標記(資料3 - 2)の紹介があつた。建築雑誌10月号に掲載される予定。

40

6. 次回開催日

次回委員会は、12月6日(火)17:30~20:00 建築会館会議室で行う。

・妹尾委員からの話題提供、刊行についてなど。

以上